

# 2016年は学校ICT推進年。 オーエスは様々な映像機器の サポートをお手伝いいたします。

文部科学省は、平成26年から29年度までの4年間 総額6,712億円という予算を付け「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」に基づき、21世紀にふさわしい学校教育を実現できる環境の整備を図ろうとしています。

オーエスでは、プロジェクターや大型ディスプレイ、タブレット書画カメラ等の様々な映像機器をサポートする製品をそろえ、教室のICT環境構築のお手伝いをいたします。

# OS NEWS

編集・発行：株式会社オーエス マーケティング課

2015年12月21日発行

## NO.02

お客様へのお役立ち情報、トピック等をお知らせする情報誌をお届けいたします。



## 短焦点プロジェクターの映像を、きれいに手軽に映す「まぐピタ」。 全面マグネットシートで黒板にしっかりと固定するマグネットスクリーン



### 黒板固定タイプ

プロジェクター固定の場合には

#### 平面黒板用

スプリング式ケース収納タイプ  
WSM-074F-FV2



スクリーンのようにケースから引き下ろすだけの簡単設置。オプションのレールを付ければ、黒板の左右移動も可能。

#### 曲面黒板用

スプリング式ケース収納タイプ  
WSM-070WC-FV2



ボールストップ・ソフトウインド機構搭載。曲面黒板用マグネットスクリーンに業界初のスプリング巻き上げ式が登場。

### モバイルタイプ

複数の教室で使える

#### 平面・曲面黒板用

スプリング式ローラー  
手巻き収納タイプ  
WSM-070WC-MV2



縦引きタイプ



手巻き収納時  
製品質量約 3.2kg

取付け・巻取り・持ち運びが簡単な、シンプルデザインのマグネットスクリーン

#### 平面・曲面黒板用

スプリング式ローラー  
手巻き収納タイプ  
WSM-070WC-MH1



横引きタイプ  
左右から  
そして縦にも  
使用可能です



手巻き収納時  
製品質量約 2.7kg

取付け・巻取り・持ち運びが簡単、シンプルデザイン。水平器が付いて水平に貼ることがとても簡単。教室間を移動して使うのに最適。

薄型ディスプレイにも、タブレットにも、書画カメラにも。まずオーエスにご相談ください。

薄型ディスプレイ壁付けハンガー

大型(70型)対応ディスプレイ壁付金具



ディスプレイ使用時は見やすく引き出し、使わない時は畳む。教室にスタンドを置く余裕がない。など黒板横に設置することで床のスペースを取らないディスプレイの壁付け。

**オーエスは現場下見の上で、その教室に最適なソリューションを提案いたします。**

薄型ディスプレイスタンド

大型(70型)対応ディスプレイスタンド

転倒角度 20°以上の安全設計

DSE-70M-F

- ガスダンパーによる手動の高さ可変機構。
- 教室間移動の際に楽なφ100の大型車輪。
- 車輪ロックは安全なダブルストッパー採用。
- 主要メーカーの電子黒板にも対応。
- 脚部つまずき防止カバーを採用。
- ディスプレイ回転機構を持つ Kシリーズもラインナップ。



タブレット管理・保管カート

12.5インチタブレット管理・保管カート

保管しながら充電可能

TC-100

- 40個のコンセントで保管しながら充電。
- φ100大型キャスターの安全設計。(写真はφ150)
- 丸みを付け安全に配慮したデザイン。
- 大型ハンドルが付いて移動も楽。
- 曜日、時間ごとに設定可能な電源制御タイマー (オプション)



短焦点プロジェクター 教壇からちょうど良い距離から

フルハイビジョン DLP プロジェクター

100インチを 1.1m から

GT1080

- 高輝度 2,800lm
- 10Wスピーカー内蔵
- 質量 2.7kg、移動も簡単
- MHL 送信規格対応
- 長寿命 (6500 時間) ランプ
- 外形寸法 W314×D224×H114

書画カメラに繋げて投影にも便利



製品の詳細につきましては、弊社 Web ページをご覧ください

乾坤一擲

002

代表 奥村正之

株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表奥村正之が歩みを振り返ります。何が語られるか、お楽しみください。

当時の私の仕事は、ガソリンスタンドへ部品を販売する会社と修理工場へ部品を販売する会社の2つのルートにかかわる会社への企画、提案、販売でした。それ以外にもエッソ石油のブランド品の販売も行っていました。ただ、今思えば会社更生法のもとで仕事をしてみました。世の中はバブル経済。他の企業は潤沢な資金をもとにビジネスを展開していき、再建中の身ですから緊縮財政を強いられて細かい点にも配慮しながらの仕事だったようです。

たとえば、ボールペンやセロテープがなくなると、管理課へボールペンやセロテープの空の芯を持っていき、新しいものと交換するといった具合でした。

ただ、新卒で入社した私にとってそのような日常が普通であり、何の違和感も感じなかった。そのような経験があるからこそ物を大切にすることが、今の私があるのだと実感しております。

世間が浮かれている中、朝6時には家を出て、終電に間に合わない日々。社有車での帰宅。

再建中ということで、社員も少なくなり、一人当たりの仕事量は多く、システムも人に頼らなければ進まない状況下での日々の仕事。

商社ですが、商品倉庫がオフィス棟の裏にあり、車に積み込んで配送も兼ねた営業。

ワイパーブレードやオイルエレメントなどの部品を積み込み、お客様の倉庫に搬入。

このような日々が2年半続きました。

(続く)

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。